

◆◆関東地方整備局の動き◆◆

1. ～道の駅「鴨川オーシャンパーク」と城西国際大学の連携～ 「道の駅」を拠点とした鴨川の新たな魅力の発掘・発信に向けて

千葉国道事務所
城西国際大学
道の駅「鴨川オーシャンパーク」

大学と「道の駅」の交流・連携の一環として、城西国際大学と道の駅「鴨川オーシャンパーク」及び千葉国道事務所3者で連携企画型の実習を実施することになりました。

この取り組みは、将来の地域活性化の担い手となる人材を育成・確保するとともに、「道の駅」が地域活性化の拠点を目指して進化を遂げるため、「道の駅」と大学がお互いのニーズを確認し、付加価値を創出する企画・立案等を実施するものです。(詳細は[本文資料\(PDF\)](#)参照)

【実施内容】

- ・道の駅利用者のニーズと地域の観光資源の把握
- ・独自の販売商品等の開発
- ・観光資源の情報発信

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/chiba_00000154.html

2. ～道の駅「甘楽」と帝京大学との連携～ 歩きたくなる城下町小幡の実現に向けて連携企画します。

高崎河川国道事務所
相武国道事務所
帝京大学
道の駅「甘楽」

大学と「道の駅」の交流・連携の一環として、帝京大学と道の駅「甘楽」及び国道事務所の3者で

連携企画型の実習を実施することになりました。

この取り組みは、将来の地域活性化の担い手となる人材を育成・確保するとともに、「道の駅」が地域活性化の拠点を目指して進化を遂げるため、「道の駅」と大学がお互いのニーズを確認し、付加価値を創出する企画・立案等を実施するものです。(詳細は別途資料参照)

【実施内容】歩きたくなる城下町小幡の実現に向けて

- ・まち歩き体験プログラムづくり
- ・まち歩きフードメニューの開発 等

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/takasaki_0000209.html

3. 情報化施工技術講習会と見学会を開催します。

関東地方整備局
企画部
関東技術事務所

民間の土木施工技術者に対する技術講習会と、学生や学識者、発注者、土木技術者を対象の見学会を同時開催します。

開催日時 平成 27 年 6 月 16 日(火)、17 日(水) 9 時 30 分～16 時 30 分

開催場所 千葉県船橋市東船橋 5-2-1

関東技術事務所船橋防災センター

主催 国土交通省関東地方整備局

協力団体

- 一般社団法人日本建設機械施工協会
- 一般社団法人日本建設機械レンタル協会
- 一般社団法人日本測量機器工業会
- 一般社団法人日本道路建設業協会

【開催内容】

(1)技術講習会:土木施工技術者向け

- ・TS※1 出来形管理技術についての講習
- ・MC※2・MG※3 施工技術についての講習

(2)技術見学会:学生・学識者、発注者(国・自治体)、土木技術者向け

- ・情報化施工機器や施工状況を見学し技術を説明

※1 TS(トータルステーション):レーザ光を利用し測距・測角を行う計測機器

※2 MC(マシンコントロール):3次元の設計データを基に作業装置を自動制御する技術

※3 MG(マシンガイダンス):3次元の設計データを基に作業装置の位置を作業員へ示す技術

- ・技術講習会及び技術見学会への参加は、無料ですが、事前の参加登録が必要です。
- ・関東地方整備局の情報化施工ホームページの「参加申込フォーム」からお申し込み下さい。
- ・技術講習会は、全国土木施工管理技士会連合会 CPDS プログラムに認定されています。
- ・詳細については、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

関東地方整備局ホームページより:TOP ページ上部検索バナー「情報化施工」を検索

(URL: <http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000021.html>)

[⇒技術講習会及び技術見学会への申し込みはこちら](#)

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kikaku_00000290.html

4. 国道6号向島～東向島において試行した自転車通行空間の整備による交通状況の変化等について

東京国道事務所
警視庁交通部

国土交通省東京国道事務所、警視庁等は、平成24年10月より「自転車通行環境整備課題検討WG(会長:東京工業大学大学院屋井鉄雄教授)」を設置し、東京都内の自転車通行環境整備の検討を進めているところです。平成27年2月17日には、国道6号墨田区向島歩道橋付近から墨田川高校前交差点までの延長約1.2キロメートルの区間において自転車専用通行帯(自転車レーン)等を試行的に設置しました。

今回、整備直後の自転車の通行状況や道路利用者のアンケート調査結果をとりまとめましたのでお知らせします。

- ・歩道を通行する自転車の割合が整備前とくらべ減少し、自転車専用通行帯等を通行する割合が増加。車道の歩道寄りを通行する自転車の割合が増加。
- ・自転車利用者の約6割が走りやすくなったと回答。自転車利用者の5割以上、歩行者の3割以上が危険に感じるものが減ったと回答。
- ・自動車ドライバーの3割以上が危険に感じるものが減ったと回答。

当該区間は、自動車の最高速度が法定の時速60キロメートルの道路であり、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」(平成24年11月、国土交通省・警察庁)によると構造的な分離が望ましいとされておりますが、当該区間ではそれに必要な道路幅員が確保できないため、視覚的な分離である自転車専用通行帯等の整備を試行しました。

今後も自転車等の通行への効果や影響、道路利用者の意識の変化について調査を行い、効果検証を行っていく予定です。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/toukoku_00000206.html

5. 道路に関する新たな取り組みの現地実証実験(社会実験)公募の開始について

関東地方整備局
道路部

国土交通省道路局では、地域におけるにぎわいの創出、まちづくりまたは道路交通の安全の確保等に資するため、社会的に影響を与える可能性のある道路施策の導入に先立って、地域住民等の参加のもと、場所や期間を限定して当該施策を試行・評価し、もって新たな施策の展開と円滑に事業を執行することを目的とする現地実証実験(社会実験)を、公募により平成 11 年度から実施しています。

この度、平成 27 年度の公募を下記のとおり開始することとしましたのでお知らせします。

○申請者

実験を実施しようとする地方公共団体(複数の地方公共団体にまたがって実施しようとする場合は、代表となる地方公共団体)とします。

○提出先

関東地方整備局道路部道路計画第二課において受け付けます。

なお、実験内容や申請等に関する事前相談、問い合わせを随時受け付けています。

○受付期間

平成 27 年 5 月 25 日(月)～平成 27 年 6 月 19 日(金)

○その他

平成 27 年 7 月中を目処に、採択実験を決定する予定です。

詳細は、公募要領を参照してください。

公募要領、公募申請書(様式)は以下のウェブサイトからダウンロードできます。

http://www.mlit.go.jp/road/demopro/public_offering/offer.html

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road_00000090.html

◆◆国土交通本省の動き◆◆

1. 建設業を紹介する映像「建設現場へGO！」を公開！

建設業を紹介する映像「建設現場へGO！」を公開！

国土交通省では、建設業が防災・減災、老朽化対策、メンテナンスなど、私たちが安全・安心に過ごすために重要な役割を担っていることや、建設業の仕事の魅力を紹介するための動画を国土交通省のホームページ等で公開しましたので是非ご覧ください！

また、各建設業団体等で開催する現場見学会等においてご活用ください。

「建設現場へGO！～地域を守り、街を元気にする建設業」

ダイジェスト3分→<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/channel.html>

本編19分→ <http://www.yoi-kensetsu.com/genba-go/>

添付資料

[報道発表資料](#) (PDF形式) 

詳しくは国土交通省ホームページをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo14_hh_000503.html

2. 「地域建設産業活性化支援事業」におけるステップアップ支援の対象案件を公募します

国土交通省では、社会資本の整備・維持管理や地域の防災・減災など、地域社会を支える中小・中堅の建設企業及び建設関連企業を支援するため、平成27年4月13日より「地域建設産業活性化支援事業」を実施しております。

本事業では、中小・中堅建設企業等が抱える経営上・技術上の課題に対し、専門家による幅広いアドバイスを行うとともに、担い手確保・育成または生産性向上に関するモデル性の高い取組に対して、重点的な支援を行います。

今般、重点的な支援の一環として、「ステップアップ支援」の対象となる案件を公募します。

1. 主な申請要件

- (1) 担い手確保・育成または生産性向上に資するモデル性の高い事業であること。
- (2) 平成27年度から起算して概ね3年程度の明確な行動計画及び目標数値を設定できる事業であること。

(3) 本事業において国土交通省とパートナー協定を締結している機関からの推薦を受ける事業であること。

(4) 支援額と同額以上の経費を自己負担すること。

2. 応募主体

○ 複数の中小・中堅建設企業または中小・中堅建設関連企業（測量業、建設コンサルタント業、地質調査業）から構成されるグループ（連携体）。

※詳細は添付資料「ステップアップ支援対象事業募集要領」を参照のこと。

3. 支援額

○ 1案件あたり上限300万円

※具体的な支援額については、支援対象事業の選定後、事業の計画と支援要望額の内容等を精査し決定。

4. 公募期間

○ 平成27年5月15日（金）～6月30日（火）（※当日必着）

添付資料

[（添付資料）ステップアップ支援対象事業 募集要領](#)（PDF形式）

[（参考）リーフレット](#)（PDF形式）

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo14_hh_000506.html


3. 簡易宿所に係る違反对策の徹底について

平成27年5月17日未明に神奈川県川崎市の簡易宿所において発生した火災では、死者5名、負傷者19名の犠牲を出す惨事となりました。

現段階では、火災のあった建築物の状況等も明らかではないものの、違反建築物であった疑いも指摘されているところです。

国土交通省としては、類似の災害の発生を防止するために、関係省庁と連携し、簡易宿所に対する違反对策等、指導の徹底を図るよう、別添のとおり、各都道府県建築主務部長あてに通知を発出いたしましたのでお知らせします。

添付資料

[報道発表資料](#)（PDF形式）

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/house05_hh_000564.html

3 事業の概要

本事業は、東京都が事業主体となり、練馬区と西武鉄道株式会社と連携して、西武鉄道池袋線の練馬高野台駅～大泉学園駅間約 2.4km について鉄道を高架化し、あわせて側道や交差する道路の整備をするものです。また、西武鉄道株式会社にて練馬高野台駅付近～石神井公園駅付近までの約 1.2km を複々線化しています。

この事業により、9 箇所の踏切を除却し、踏切による交通渋滞及び踏切事故を解消するとともに新たに生み出された高架下空間を有効利用することで鉄道により分断されていた市街地の一体化を図ることができ、鉄道輸送においては安全性の向上、輸送力の増強等に寄与します。

本事業は図-2 に示すように全体を 2 つの区間に分け、練馬高野台駅～石神井公園駅間をⅠ期区間、石神井公園駅～大泉学園駅間をⅡ期区間として進めており、Ⅰ期区間においては平成 23 年 4 月に、Ⅱ期区間においては平成 27 年 1 月に高架化が完了しています。今後は、高架下等の鉄道施設及び関連側道・交差道路の整備を行い、平成 28 年度中の完成を目指しています。高架化の代表的な施行順序は図-3 の通りです。

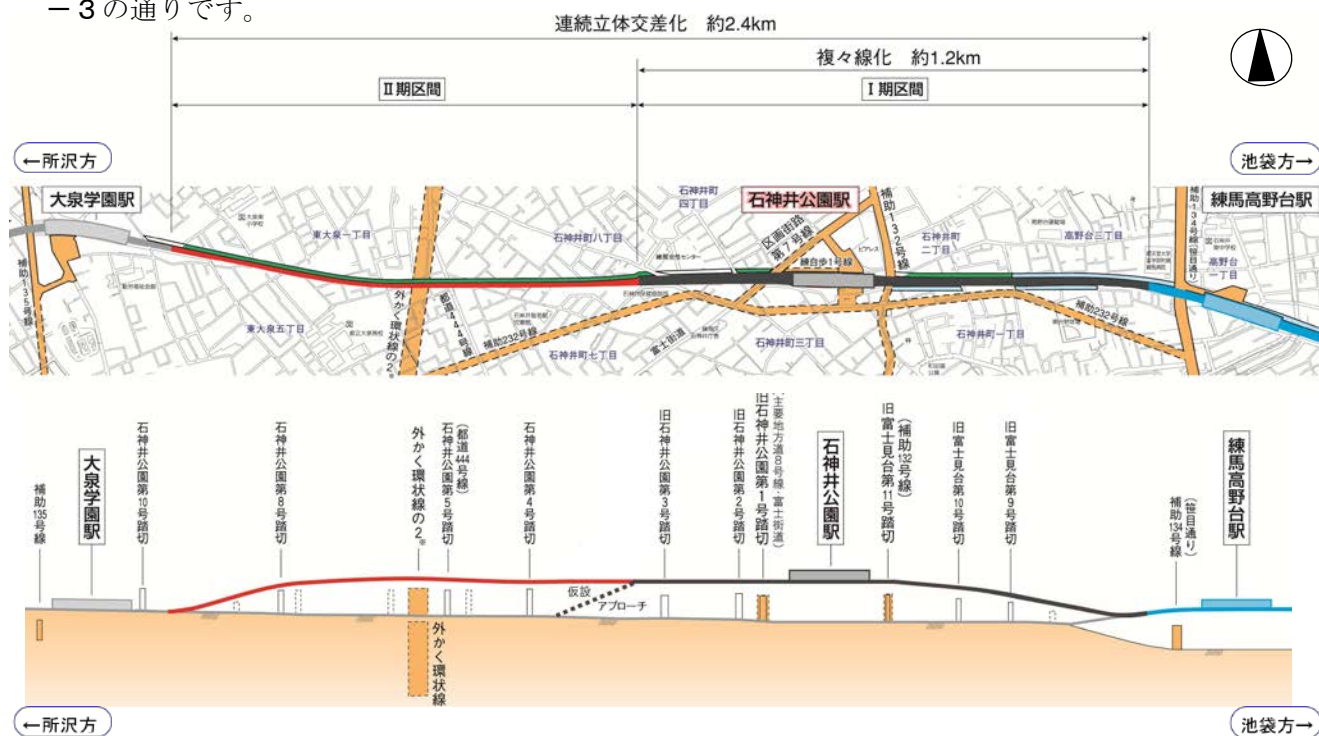


図-2 事業概要図

1. 仮線化
2. 下り線高架切換
3. 上り線高架切換
4. 側道整備 (事業完了)

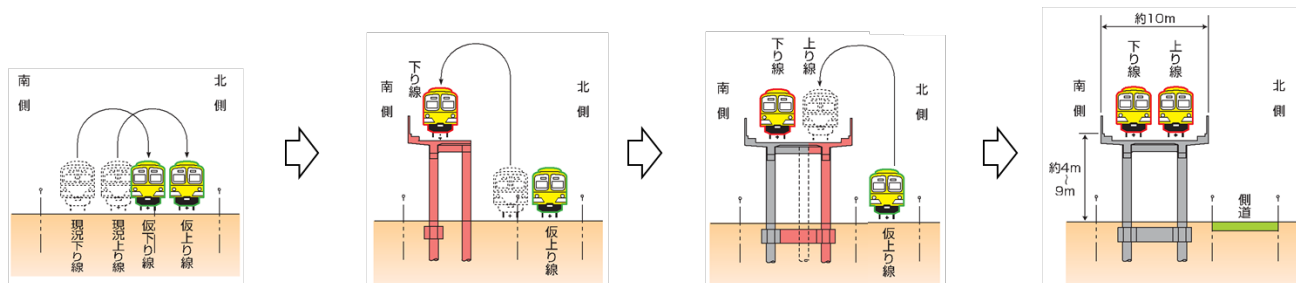


図-3 施行順序図

4 事業による効果

(1) 交通の円滑化及び安全性の向上

事業区間にある主要都道（富士街道）では、高架化前は最大約 500m あった踏切遮断による交通渋滞が、高架化後に解消されました。さらに、高架化後に地元の方々を対象に行ったアンケート調査では、小中学生やお年寄りを家族にお持ちの約 9 割の方々から「踏切事故の心配がなくなり、通学や日常の移動に対して、安心感が高まった」との回答が得られました。



写真－1 富士街道の交通状況の変化

(2) 地域の発展

高架化に併せて東京都が実施する富士街道の道路拡幅事業・側道整備、地元の練馬区が実施する石神井公園駅南口の駅前広場整備や自転車歩行者道の整備を進めています。また、高架下の空間を有効利用して練馬区にて駐輪場・図書館資料受取窓口等の整備、西武鉄道にて商業施設・駐輪場等の整備が進んでおり、まちに賑わいをもたらしています。

また、保育所も開園されるなど、様々な地域ニーズに沿った利用がなされ、地域の利便性の向上や活性化につながっています。



写真－2 石神井公園駅付近整備状況

5 高架化後催し

高架化後の本年1月31日に仮上り線跡を一般の方々に歩いていただくレールウォークなどのイベントを開催し、2,000名を超える方々にご来場していただきました。(写真－3)

また、長期にわたり事業に御協力頂いた地元住民・関係者と立体化を祝う目的で、本年1月25日の事業区間の全線高架化後、3月28日に石神井公園駅横に特設会場を設け、全線高架化記念式典を開催しました。

当日は、東京都、練馬区、西武鉄道の関係者及び地元住民・小学生など、約150人が参加し、盛大な式典となりました。

式典では、事業の記録映像上映、「鉄道の高架化」をテーマとした絵画募集に参加していただいた小学生への表彰状贈呈及びくす玉開きなどを行いました。(写真－4)



写真－3 イベント状況



写真－4 高架化記念式典状況



6 おわりに

今後とも東京都は、踏切遮断による交通渋滞や地域の分断、緊急・震災時の消防・救急活動への支障などの課題を抜本的に解決するため、鉄道事業者及び沿線区市と連携しながら連続立体交差事業をより一層推進していきます。